

■プラン名:

生成AI活用ガイドラインを踏まえた、汎用的生成 AIのオンサイト教員研修プラン

■企業名:

株式会社みんがく

■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1. 情報Ⅱ等の教科・科目の開設等

2. デジタル環境の整備と教育内容の充実

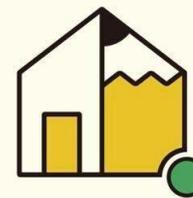
3. 理数系科目の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

5. 文理横断的な新しい普通科の設置

6. 特別支援学校の学びの充実

【教育×テクノロジー】で現場課題と向き合う



みんがく

～次世代の教育のスタンダードを創る～

●概要

情報Ⅰ（１）情報社会の問題解決

情報Ⅱ（５）情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究

総合的な探究等全ての項目※本研修は総合探究のみならず教科の授業も探究的にするための研修です

生成AIの基本とルールを学び、授業での活用につなげる対面研修

本研修は、生成AI活用ガイドラインを踏まえ、
汎用的な生成 AIの考え方と教育現場での適切な活用方法を学ぶオンサイト型の教員研修 です。
特定のツールに依存せず、生成 AIの特性や留意点を理解し、
情報Ⅰ・情報Ⅱや総合的な探究の時間における授業活用につなげます。

対面研修を通じて不安や疑問を解消し、
教員が安心して生成 AIを授業に取り入れられる状態 を目指します。

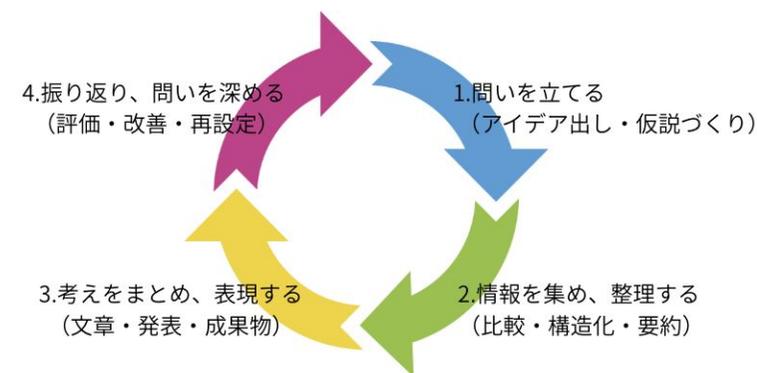
<対象>

- 生成AIの活用に関心はあるが、授業での活用に不安を感じている教員
- 情報Ⅰ・情報Ⅱ、総合的な探究の時間を担当、または今後担当予定の教員
- 生成AI活用ガイドラインを踏まえた、適切な活用方法を学びたい教員
- 校内で生成AI活用を検討する立場にある教員（ICT担当・研究主任等）

<期待される効果>

- 生成AIの特性や活用上の留意点を理解し、ガイドラインに沿った適切な活用判断ができる**教員の育成**
- 特定ツールに依存せず、**授業内容や目的に応じて生成 AIを活用する基礎的実践力の向上**
- 生成AIに対する不安や誤解の解消による、**授業や探究活動への活用に向けた第一歩の形成**

生成AIとともに回す、
探究的な学びのサイクル



研修で使用するAI



💡 生成AI活用ガイドラインを踏まえた、安心・安全な活用理解

- 文部科学省等の生成AI活用ガイドラインの要点整理
- 教育現場における留意点や判断基準の明確化
- 不安や誤解を解消するための具体的な事例共有

🛡️ 特定ツールに依存しない、汎用的な生成AI活用の考え方

- 生成AIの特性や強み・限界に関する基礎理解
- 教科や学習活動に応じた活用の視点整理
- 今後の技術変化にも対応できる汎用的な活用思考の習得

👥 対面による双方向型研修での理解深化

- オンサイト研修による質疑応答・意見交換
- 自校の実情に即した活用イメージの具体化
- 研修後の授業実践につながる納得感の醸成

●参考価格

項目	内訳	小計(税込)
研修費用(1回)	1校あたり	300,000円
		合計300,000円

【留意事項】※まずはお問い合わせください

- 別途講師の交通費、宿泊費がかかります。
- 本研修は、**生成AI活用ガイドラインを踏まえた適切な理解と活用判断の習得** を目的としており、特定の生成 AIツールの操作習得を目的とするものではありません。
- 研修内容は、学校の教育課程や校内体制に応じて、**授業での活用可否や活用範囲を各校で判断** することを前提としています。
- 研修時間は**2時間程度を想定** していますが、**学校の状況や目的に応じて調整が可能** です。
- オンサイト(対面)での実施にあたり、**実施日時・参加人数・研修時間等は学校の状況に応じて調整可能** です。
- 本研修は導入研修としての位置づけであり、**継続的な活用や実践には、校内での共有や次段階の取組と組み合わせることを推奨** します。

生成AI利活用研修：教育現場の「ハンドル操作」を完全習得 教員の働き方改革と、生徒の探究を深める共創プロセス

1. 文科省GLとマインドセット

パラダイムシフトの理解

Ver 1.0(抑制)からVer 2.0(活用)への変容。リスクを避けつつ「正しく使う技術」を養います。

項目	Ver 1.0	Ver 2.0
基本方針	制限・回避	活用・共存
小中利用	不適切	段階的推奨
AIの役割	正解機	思考の鏡

教育的マインドセット

- 思考停止を許さない：丸投げはNG。
- ハルネーション：AIは「嘘」を付く。
- 批判的思考：回答を疑う力こそ重要。
- 最後の責任：判断は常に人間が行う。



※Azure基盤・教育用フィルタリングによる安全性を担保

2. 【教員】校務効率化ワーク

NotebookLMによる「政策翻訳」

難解な行政文書をアップロード。AIと対話し、現場の言葉や保護者向け通知、ラジオ台本風に変換。

- ソース入力：PDF、URL、Googleドライブを読込
- チャット指示：要約・書き換え・Q&A生成
- メモ保存：良い回答をピン留めし資料化

プロンプト構成の習得

Role: あなたは経験豊富な進路指導教諭です
Format: 箇条書き。対象は保護者。
Markdown: #要点 **重要**

- 教材作成：確認テスト問題のたたき台
- 生活指導：アンケート案、指導ログ要約
- 広報業務：学年日より、お便りの草案

-64h

月間削減/指導案

-83%

削減/作文添削

3. 【生徒】探究共創ワーク



「給食ロス削減」実践モデル

AIを『意地悪なレビューア』にする

- A 発散：ユニークな解決案を10個出させる。
- B 深掘：反対意見を予想させ、反論を考える。
- C 構成：説得力あるプレゼン骨子へ構造化。

生徒への「鉄の掟」

- NG 答えを教えて（検索の劣化版）
- OK 僕の案を論破して（思考の拡張）

意思決定と「情熱」は人間にしか宿らない。

ご興味がありましたら、以下からお問合せください。

企業名: 株式会社mingaku

電話: 03-4335-3965 平日9:00~18:00

メール: info@mingaku.net

ホームページ: <https://school-ai.mingaku.net/>